



## ICAO 主催の火山灰に関する国際会議 (VOLCEX/SG) 参加報告 (ICAO Volcanic Ash Exercise Steering Group)

### はじめに

この会議は、Asia Pacific 地域の火山活動をテーマに、年 1 回の模擬訓練 (Exercise) の準備と実施後の振り返りを行うものです。過去、この会議には IFALPA の RVP (Regional Vice President) が参加していましたが、活火山と隣り合わせの運航を強いられている国の ALPA メンバーが参加する方が望ましいという考えの下、今回は ALPA Japan メンバーも初参加しました。会議は、世界に 7 つある ICAO Regional Office の 1 つである ICAO Bangkok Office で 2 日間の日程で行われ、ALPA Japan と ALPA Indonesia から 2 名の Pilot が参加して活発な議論に加わりました。会議には台湾、ベトナム、カンボジア、フィリピンなど ALPA が存在しない国を含めた 14 か国の気象関係者・行政関係者が出席し、日本からは航空局管制官 1 名、気象庁 2 名が参加しました。

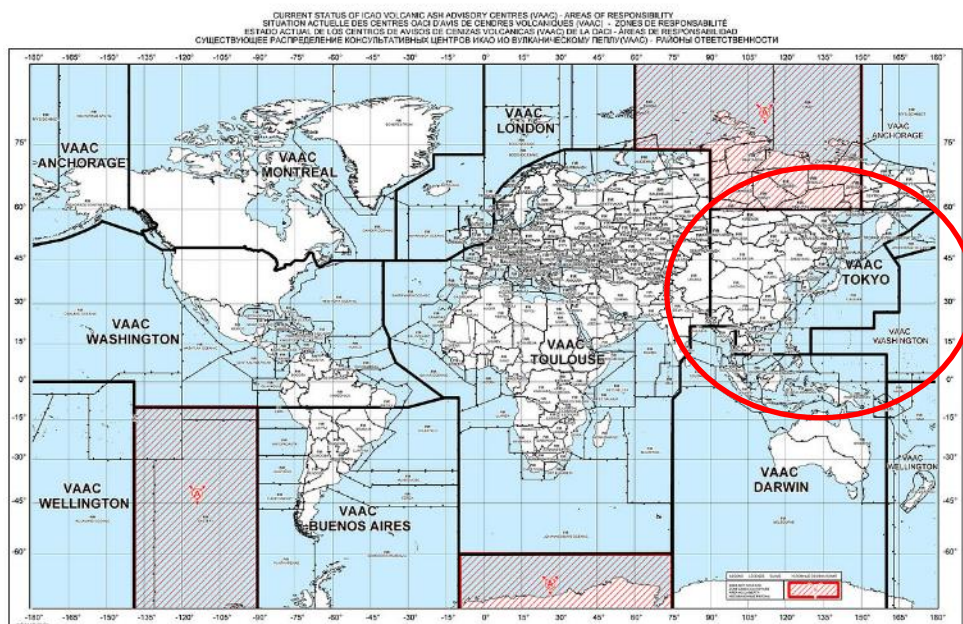


### 背景

ICAO Doc9766 「Handbook on the international Airways VOLCANO Watch」には、火山活動に関する様々な内容が記載されており、例えば世界に 9 か所ある VAAC (Volcanic Ash Advisory Center : 右図参照) や各国の活火山などが記載されています。また、Appendix F には火山噴火を想定した Exercise を行う事が推奨されています。図を見て分かる通り、9 つある VAAC の 1 つは Tokyo VAAC であり、その担当区域は大変広く、東アジアから東南アジアの一部、そしてロシアの一部まで包含されています。

言うまでもなく、VA に関する日本の役割は大変重要となっているのです。

更に、ICAO Annex15 には NOTAM と同じように “ASHTAM Form” という VA に特化したレポート Form も定められています。ICAO Doc9766 の推奨を受け、2015 年に初めてこの VOLCEX/SG が開催され、毎年 Exercise を行っています。



## 議題

前記したように、1年に1度行う Exercise に関してシナリオや当日の手順や連絡体系などの準備し、その Exercise を Review する位置づけの会議であり、多くの議題が VA 情報システムの詳細な内容や、VA 観測・予報の適切な運用（有効期限やフォーマット、連絡体系の模索等）でした。会議の出席者は主に、VA に関する観測や情報を発信する側であり、その発信された VA 情報や予想図を Pilot がどう活用するかという意見や目線について大変興味深い関心を寄せていました。例えば PIREP に関して、VA の飛散量に関する情報も有り難いが、どう飛散していくか、どのルートだと確実な回避が可能かを判断できると実運航に大いに役立つと言った意見を共有しました。



## まとめ

IFALPA はこの会議体では Observe ステータスではあるものの、会議の中では User である Pilot の意見は大変歓迎されており、IFALPA の存在意義を強く痛感しました。火山は噴火によって空域に影響を及ぼし、噴煙が空港に飛散すると空港機能に影響を及ぼすことから、空域を飛行する航空機、空港に離着陸する航空機に大きな影響を及ぼすのは明白で、Pilot の視点や意見は VA に関する ICAO 会議において切り離せない関係性を持っています。

今回は ALPA Japan として初めて参加した会議ですが、活火山と隣り合った運航環境である日本の乗員にとっても、有意義な会議であることを痛感しました。また、気象庁や航空局の担当者とも良好な関係も構築することができ、今後も適宜連絡を取り合いながら、VA に関して一緒に取り組んでいければと考えています。

火山は噴火しなければ実運航に大きな影響も与えず、我々乗員もその存在や危険性に疎くなってしまいましたが、一度活発な活動が起こると、現在の新燃岳や桜島、以前の御嶽山などの様に非常に大きな影響を運航環境に与える事になります。また、世界規模で見ても、2010年のアイスランドにおける火山噴火による欧州の空域閉鎖やインドネシア・バリ島の火山噴火に伴う空港閉鎖など、Asia Pacific 地域だけではなく全世界中で運航に影響を及ぼす重大な Topics であるのは間違いありません。引き続き ALPA Japan は VA に関する様々な取り組みを続けていく予定です。

以上